

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	BSE対策など食肉の安全確保対策推進事業		担当部局庁	医薬食品局食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	監視安全課		滝本 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第2条、と畜場法第2条、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律第1条の2、牛海綿状脳症対策特別措置法第3条		関係する計画、通知等	「牛海綿状脳症に関する検査の実施について」(部長通知)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食鳥肉・食肉等の安全確保、監視指導體制を強化するため、米国、カナダからの牛肉輸入における対日輸出条件の現地査察、都道府県等が行うBSEスクリーニング検査に対する外部精度管理、都道府県等の食品衛生監視員、食鳥検査員、と畜検査員の検査技術等の向上を図るための講習会、研修会を開催し、食の安全を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米国産及びカナダ産牛肉の対日輸出施設等に対して定期的に査察を行うとともに、BSEスクリーニング検査の外部精度管理、食品衛生監視員に対する疫学調査、監視指導等に関する講習会の実施、食鳥検査員及びと畜検査員に対する検査技術や衛生管理、疾病診断法等に関する研修会の実施							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	48	44	30	19	15	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	48	44	30	19	15	
		執行額	34	33	24			
	執行率(%)	71%	74%	80%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	21ヶ月齢以上の牛全頭のBSEスクリーニング検査数	成果実績	頭数		1,068,721	1,063,754	集計中	-
		達成度	%		100	100	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	検査実施都道府県数	活動実績 (当初見込み)	都道府県		46	46	集計中	-
						()	(-)	(-)
単位当たりコスト	453 (円/頭)		算出根拠	平成22年度補助金額(481,937千円)/21ヶ月齢以上の牛のと畜頭数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.4	0.3	対日輸出施設への現地査察旅費の減				
	職員旅費	6.8	5.8					
	委員等旅費	0.6	0.5					
	庁費	1.0	0.9					
	食品等試験検査費	10.3	7.5					
	計	19.1	15.1					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	BSEについては、世界における発生頭数は年々減少してきているものの、今もなお数十頭の感染牛が確認されており、国民のBSE対策の関心も高く、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	BSE検査はと畜場を所管する地方自治体において、スクリーニング検査を実施しており、国はスクリーニング検査のキット代を補助している。スクリーニング検査で陽性となったものについては、国で確認検査を実施している。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	入札により、当初予定していた予算額以下で調達ができたため。
資金の流れ、費目・用途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の一部に随意契約があるため
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	複数の検査キットが使用できるよう牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議を開催し、検査実施要領の改訂をしている。その結果、当初1頭あたり3000円程度していたキット代が、現在では500円程度に削減している。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	食肉の対日輸出施設に対する査察など、事業に必要なものみに支出されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	世界的にもエライザ法(BSE検査キット)を用いたスクリーニング検査が実施されており、成果実績及び活動実績をふまえて実効性が高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、21ヶ月齢以上の牛は全頭検査が実施されている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	と畜場を所管する自治体により、100%実施されている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	BSE検査キット代、施設整備費等BSE検査体制確保のため、自治体において十分に活用されている。
点検結果	輸出国への現地調査の日程について、過去の実績を勘案し、事業に要する経費を見直し、予算要求に反映させた。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、BSE対策など食肉の安全確保のため定期的に査察等実施する経費であるが、恒常的に不用が生じており、執行状況及び事業計画を精査し、予算を縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	対日輸出施設への現地査察について、過去の実績を考慮して輸出国検査の渡航日程や渡航人数を見直す等、予算の縮減を図った。 (反映額: 4百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0326	平成23年行政事業レビュー	0296

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
24百万円

【一般競争入札】

A 尾崎理化(株)等
2者 3百万円

〔食肉の安全確保に必要な試験・検査装置等〕

【随意契約】

B 岩井化学薬品(株)等
8者 6百万円

〔食肉の安全確保に必要な試験
研究のための消耗品購入等〕

【謝金・旅費】

C 個人等
7者 0.1百万円

〔食品の安全確保に必要な専門
的助言等〕

【事務費】

D 民間業者等
17者 13百万円

〔職員旅費、消耗品等〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.尾崎理化(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	リアルタイム濁度測定装置一式	2			
計		2	計		0
B.岩井化学薬品(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	BigDye Terminator v3. 1 Cycle Seq等	2			
計		2	計		0
C.個人A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委員等旅費	食肉衛生技術研修会出席旅費等	0.07			
計		0.07	計		0
D.郵便事業(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	郵便料金	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	尾崎理化株式会社	リアルタイム濁度測定装置一式	2	1	82.3
2	(株)チヨダサイエンス	純水・超純水製造装置	1	1	99.6
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)チヨダサイエンス	310 Genetic Analysis~5本等	1		
2	岩井化学薬品(株)	BigDye Terminator v3. 1 CycleSeq	0.9		
3	(株)池田理化	LBブロスミラー等	0.8		
4	理科研株式会社	Can Get Signal Immunoreacti等	0.7		
5	岩井化学薬品(株)	QIAprep Spin Miniprep Kit等	0.6		
6	尾崎理化(株)	スライドガラス 水縁磨フロスト等	0.5		
7	岩井化学薬品(株)	テセーBSE等	0.4		
8	岩井化学薬品(株)	Anti-PrP Monoclonal Antibod等	0.4		
9	(株)豊島製作所	超純水製造装置消耗品交換費	0.4		
10	(株)池田理化	Ganglioside sugar 3' Sialy等	0.2		

C謝金・旅費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出席旅費	0.07		
2	個人B	出席旅費	0.04		
3	個人C	出席旅費	0.01		
4	個人D	出席旅費	0.005		
5	個人E	出席旅費	0.004		
6	麴町税務署	源泉徴収	0.003		
7	個人F	出席旅費	0.002		
8					
9					
10					

D事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	食肉衛生技術研修会・衛生発表会資料印刷	0.3		
2	(財団)星陵会	食肉衛生発表会会場借上	0.3		
3	(財団)星陵会	食肉衛生技術研修会会場借上	0.2		
4	(財団)星陵会	食鳥肉衛生技術研修会会場借上	0.2		
5	(株)ロクス	両開き書庫等	0.3		
6	(財団)星陵会	食鳥肉衛生発表会会場借上	0.2		
7	(株)太陽美術	食鳥肉衛生技術研修会・衛生発表会資料印刷	0.1		
8	(株)JTB首都圏	食鳥検査に係る主要生産道県会議出席旅費代行	0.06		
9	(株)JTB首都圏	食肉の安全性確保に関する県民フォーラム講師等旅費代行	0.03		
10	(株)JTB首都圏	全国食肉衛生検査所協議会東海・北陸研修会講師旅費代行	0.03		